



「うちの畑を何かが荒らす!でも犯人が分からない…」という相談なら、犯人をはっきりさせるためにトレイルカメラを設置すれば良いことなのですが、私たちのところに来る相談の中で多いのは、「犯人は分かっている、対策もしている、でも荒らされる」というケースです。皆さん、刑事になったつもりで考えてみてください。被害者の言い分は、犯人は分かっている、対策もしているのに荒らされるのだから、逮捕(捕獲)してほしいということです。なるほど。でも皆さんは刑事です。被害現場を確認して、証拠を集め、手口を見極めないといけません。更にはこの被害者の発言も疑ってかかりましょう。「あなたは犯人を見たんですか?」

こう質問すると大抵の方が「見たわけではないけど…きっとそうに違いない」と言われます。そうです、意外と思いきみで犯人に仕立て上げられている場合があるのです。

例えば、左上の写真。トウモロコシがカジられています。タヌキやアナグマが大抵疑われますが、トウモロコシの実が茎についたままの場合は、ほとんどがカラスによるものです。タヌキやアナグマであれば、まず茎ごと押し倒します。私たちは犯人の手口を知っているので、犯人はタヌキではないと言いますが、タヌキを犯人と信じて疑わない被害者には通じません。こんな時に、百聞は一見に如かず!トレイルカメラの登場です!犯人の姿と手口をしっかりと見てもらいましょう。何せ、この犯人間違いは大変です。テグスを張って空から来るものの対策をしないとイケないのに、ずっと地面から来るものを想定してネットを張ったりしても無駄になってしまいますから。

2枚目の写真はテグスと電気柵、対空対地の防備が完璧なトウモロコシ畑です。しかし被害が発生しました。

結論から言うと犯人はカラスでした。でも手口が分かりません。犯人の姿と手口を撮影するのがトレイルカメラ!

では3枚目の写真を見て下さい。電線の上に鳥は乗れるのです!そう来たか!!という具合にトレイルカメラの有効性がお判りいただけたでしょうか?

さて、色々な種類があるのは前回ご紹介しましたが、選ぶ時には以下のポイントをチェックして選ぶと良いでしょう。

①値段、②メニュー画面が日本語、③画素数、④センサー有効範囲、⑤トリガースピード  
他にも夜間カラー撮影機能やバッテリー仕様やモニターの有無などもあるのですが、基本的には①から⑤を比較して検討されたら良いかと思います。色々カタログを見て選んで下さいね。

同日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399

## 「県民参加の森林体験・森林保全活動」の企画を募集しています

県民みんなでととりの森を守り育てるため、森林環境保全税を活用して、森林体験や森林保全活動などを行う団体の取組を支援します。

- 【対象】** 集落、NPO法人、ボランティア団体、小・中学校、森林組合など  
**【活動内容】** ①県内で実施され、多くの県民の参加を募る森林体験活動など  
②3年間以上継続するモデル的な森林保全活動

※活動の例・森林整備の体験学習、森林教室、源流森林の探訪、  
貴重な森林を継続して保全・整備する活動

**【補助額】** 対象経費の全額を補助(上限額80万円)

**【留意事項】** 新型コロナウイルス感染防止対策を行う活動に限ります

### 応募期限

〈第2次〉

5/31(火)

〈第3次〉

8/31(水)

※第1次募集は  
終了しました



同日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2021 FAX:0859-72-2125



### 表紙写真

タイトル:川平の岩藤

撮影者:日野町 松本 利秋

撮影者コメント:川面に一房下垂の「藤」、舞妓さんのかんざしを連想し、優しく美しい。歴史と文化を育んで流れる一級河川の日野川右岸、大きな奇岩につるが巻き付き帽子のように4月~5月に咲く「川平の岩藤」。周りの山々の新緑の中でひととき目を引きまします。ここは、江府町佐川(国道181号線・道の駅「奥大山」から米子方面に約1km)の道沿い。交通安全を見守ってくれているようです。車を止めて観賞を、安全運転をしましょう。